

# 研究発表会のご案内



<令和4年度研究発表会 東北信B会場 第1分科会協議の様子>

■ **東北信A会場(担当:佐久教育会) 6月 17日(土) 軽井沢町立軽井沢西部小学校**  
第75期研究員の発表

■ **東北信B会場(担当:飯水教育会) 7月 8日(土) 信濃教育会館【ハイブリット開催】**  
第75期研究員の発表

■ **中信会場(担当:塩筑教育会) 7月 15日(土) 塩尻市立広丘小学校**  
第76期研究員の発表

■ **南信会場(担当:諏訪教育会) 7月 22日(土) 岡谷市立神明小学校**  
第76期研究員の発表

8:50

9:10 9:15

9:30

12:00

受付

全体会

分科会

## 学び合おう 子どもの目線から

この研究発表会は、研究所で学んだ第75期・76期研究員が研究成果を報告する会です。報告をきっかけとして、参会の先生方と共に互いの実践を交流し合い、子どもの目線から授業のあり方を求める会でもあります。

改めて教師のあり様が問われている『今』、学校での実践にゆらぎが懸念される『今』、私たちは何を見据えて実践に取り組んでいったらよいのでしょうか。皆さんと共に大いに語り合えたらと願っております。

皆さまのご参加をお待ちしています。

## ▶ 第75期 研究テーマ ◆第75期研究員の発表は、6月17日(土)と7月8日(土)です。

- 【第1テーマ】 教師と子ども、子ども相互の関係づくりをどうすすめるか  
【第2テーマ】 子どもの学びをどのように充実させるか  
【第3テーマ】 子どもの願いに立った授業づくりをどうすすめるか

### 第75期 第1分科会

#### ■その子の思いに添って、共に歩む教師を目指して（第1テーマ）

佐々木 悠介(美南ガ丘小学校)



2年次研究で、私はD児とのかかわりに悩む中、D児とよく一緒にいるE児に気づきました。E児は、ありのままのD児を受け入れていました。D児とE児の関係から、私は自分の考えを見つめ直し、気づけばD児と楽しみながらごみ集めをしていました。私は、子どもと私だけではなく、子ども同士のかかわりから自分の考えを見つめ直すことで、子どもと共に歩んでいきたいと考えました。

#### ■「具体」から「意義」に迫る数学の授業（第3テーマ）

佐久間 拓(信州新町中学校)

「数学を『具体』として学ぶんだ」というパッションで研究してきました。得失点差をもとに負の数を理解するなど、生活と結びつけて数学がわかったとき、生徒は「あ〜わかった!」「そうだよ!」と声を上げていました。一方で、負の数をかけることを学ぶ授業では、矛盾のない数学の世界がつけられていくことに生徒が確かさを感じていました。子どもそれぞれの「納得」についてみなさんと一緒に考えたいと思います。



### 第75期 第2分科会

#### ■子どもの言動を素直にとらえ、子どもの思いを感じる教師（第1テーマ）

佐々木 直人(昭和小学校)



私は、先入観をもち、担任の立場から言動を正そうと身構え、その子の言葉を受け入れられませんでした。私は子どもの言動を素直にとらえ、思いを感じ取りたいと思うようになりました。実習や2年次研修で、私が子どもたちの訴えに耳を寄せて思いを受け止めたことが、子どもたちの落ち着きや互いの思いを感じることにつながったように感じました。私は子どもをわかろうとし一歩離れて子どもたちを見ていたことに気づきました。

#### ■「対話」が生まれ、学びの深まる授業 ~ICTを活用して~（第2テーマ）

土屋 眞貴子(犀陵中学校)

「深い学びとICTの関連性は?」という課題から実践を振り返ると、学びの深まりは「対話」にあったことに気付きました。そこからICTで「対話」が生まれる授業を考え、実践してきました。生徒はICTの共同編集で、思考などの情報共有を通して共同追究者となり、「対話」しながら学びを深めていました。私は、「対話」が活性化するツールとしてのICTの有効性を感じました。先生方はICTをどのようにお感じでしょうか。情報共有できると嬉しいです。



### 第75期 第3分科会

#### ■異年齢でかかわり合う中で、思いを共に分かち合う子どもを目指して（第2テーマ）

大原 央之(東信教育事務所)



異年齢の子ども同士が共に活動するとき、一人一人がどんな思いを抱き、かかわり合って学ぶのか研究を進めてきました。その中で、対象に対して、互いの存在に関心を寄せ、思いを分かち合うことで、年齢といったものがを超えて、一人の個と個としてつながり合い、学んでいることに気付きました。先生方と異年齢の子ども同士がかかわり合って学ぶよさや、そのかかわりを見つめる教師の在り様について、考えていきたいと思っています。

#### ■子どもと教材を味わいながら、共に学んでいく教師を目指して（第3テーマ）

竹内 均(白馬北小学校)

私は、自分の授業の振り返りをしたことで、子どもと同じ目線に立って、一緒に考えていく授業をしたいと思うようになりました。2年次研究で、子どもの考えにふれながら、私の考えも広がっていく中で、子どもと一緒に教材を味わっているように感じました。私は、子どもと同じ目線に立って共に学んでいける教師を目指していきたいです。そして、皆さんと「子どもは何を願っているのか」について、一緒に考えていけたら幸いです。



## ▶ 第76期 研究テーマ ◆第76期研究員の発表は、7月15日(土)と7月22日(土)です。

- 【第1テーマ】 教師と子ども、子ども相互の関係づくり
- 【第2テーマ】 子どもの学びが深まる授業づくり
- 【第3テーマ】 今日的な課題に対応する多様な学び

### 第76期 第1分科会

#### ■生徒の思いを感じ取ろうとしながら、生徒と共に歩む教師を目指して（第1テーマ）

小川 敦嗣（丘中学校）



自分の価値観に当てはめて生徒を指導することが多く、生徒との間に心の距離を感じ悩む時が何度もありました。生徒は何を思っているのか、言葉だけでなく表情や背景も含めて感じたいと思うようになりました。そのような気持ちで生徒と活動する中で、「〇〇さんはどうしたいのか？」と生徒に問うなど、私が生徒にかける言葉も変わってきました。「子どもの思いを感じ取ること」について先生方と一緒に語り合いたいです。

#### ■『子どもをみる』ことで、その子の思いを感じ、学びを支える教師を目指して（第1テーマ）

小野 光太郎（高丘小学校）

子どもたちが学ぶ姿を振り返って、子どもが、言葉だけでなく体全体で表している思いを感じるように「子どもをみる」ことをすべての教育実践の根底に据えることの大切さを実感しています。「この子は今、何を感じていて、どのような思いで、何をしようとしているのだろう」と、子どもと共に対象に向き合いながら、その子の思いを感じ、学びを支える教師を目指していきたいと思えます。



### 第76期 第2分科会

#### ■一人一人の追求を支える美術の授業（第2テーマ）

赤羽 雄太（小海中学校）



過去の実践の振り返りや実習を通して、題材や教師の支援の仕方だけでなく、生徒が自ら学びを深めていくことができるような学習環境をいかに整えるか、という視点から授業づくりを行う必要性を感じました。生徒の学びの深まりを、教師はいかにして捉えれば良いのか。生徒の学びの過程をどのように評価に繋げれば良いのか。そのようなことについても考え合える時間にできればと思います。

#### ■子どもの成長を支える『先生』を目指して（第2テーマ）

福島 章浩（和小学校）

振り返りを通して、「私—子ども—教材」という学びにおける関係の深まりが、子どもの学びを深めることがみえてきました。私が子どもに寄り添うことや、教材研究を深めることは、学びにおける関係を深めるために必要な、教師としての営みだと気づきました。関係の深まりが学びを深め、学びの深まりがよりよい関係に繋がる。私は子どもの「こうなったらいいな」という成長への思いを支える「先生」を目指したいと思えます。



### 第76期 第3分科会

#### ■その子が安心して自分を出せる環境を築く教師を目指して（第3テーマ）

伊藤 葉子（松代中学校）



自分の都合で子どもを理解しようとしていたこと気づき、「その子に関心をよせ、ありのまま受けとめること」「その子の視点に立って思いを巡らし続けること」の大切さがみえてきました。そのような教師の心持ちで子どもたちとかかわることが、子どもたちの「安心」につながっていくことを実感しました。発表会では、参加される先生方と共に、子どもが安心して自分を出すための教師のあり方を一緒に考えたいです。

#### ■子どもが自分の問いを追究していく授業を目指して（第3テーマ）

黒岩 誠（中野平中学校）

子どもたちが対象に触れることで感じたふとした思いや他者の考えに触れる機会を大切にすることが、子どもたちが自分の問いをもつことや、追究することにつながると考えた。そして、自分の問いを自分の筋道で確かめていく姿こそ、私が大切にしていきたい追究の姿であることに気がきました。子どもたちが自分の問いを自分なりの方法で確かめていく授業の実現に向け、実践を重ねていきたいと思えます。



# ▼お申込みはこちらからどうぞ！ 皆さまの参加をお待ちしております▼



信濃教育HP ◀ 参加希望の方は、下記の【QRコード(Google フォーム)】または、左の信濃教育会HP（FAX用紙がダウンロード出来ます）よりお申し込みください。  
※尚、開催期日ごとに申し込みのQRコードが異なりますのでご注意ください。

## ▶ 第75期研究員の発表 開催期日・会場

① 6月17日(土)

軽井沢町立 軽井沢西部小学校



6月7日(水)  
申込み〆切日

② 7月 8日(土)

信濃教育会館 ハイブリット開催

(対面・Zoom)

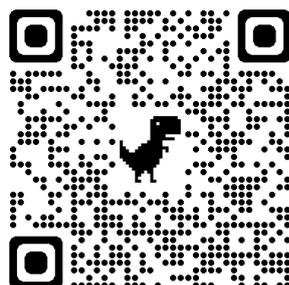


6月28日(水)  
申込み〆切日

## ▶ 第76期研究員の発表 開催期日・会場

③ 7月15日(土)

塩尻市立 広丘小学校



7月5日(水)  
申込み〆切日

④ 7月22日(土)

岡谷市立 神明小学校



7月12日(水)  
申込み〆切日